

事務事業名 シニアクラブ活動推進助成事業

出力日：令和05年04月27日

キーコード：191

施策：	10	高齢者福祉の充実 ~地域包括ケアシステムの推進~	財務コード	01030102-11-00
基本事業：	01	社会参加と生きがいづくり	担当部	健康福祉部
基本事業の成果指標	地域活動等に参加している高齢者の割合 生きがいを持っている高齢者の割合		担当課	高齢者支援課
			担当係	高齢者福祉担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	昭和46年度 ~	新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
筑紫野市シニア連合会及び連合会に加盟する単位老人クラブ		筑紫野市老人クラブ活動等社会活動促進事業費補助金交付規程等に基づき、筑紫野市老人クラブ連合会及び連合会に加盟する単位老人クラブの運営・活動等に対して、助成金を交付し、活動を支援するもの。				
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）		【根拠となる要綱等（上記以外）】				
対象団体の各種社会参加活動等を支援することで、高齢者の生きがいづくり、健康づくり、仲間づくりにつながることも、活力のある高齢者の地域活動等の促進につながっている。		・老人福祉法（第13条）				
		・福岡県高齢者社会活動推進事業費補助金交付要綱				
		【組織体制】全国老人クラブ連合会 都道府県老人クラブ連合会 市町村老人クラブ連合会 単位老人クラブ				
		【手続き】交付申請書（報告書及び計画書含む）の提出 交付決定 交付				
		【助成種別】				
		単位老人クラブ運営費助成（4,320円×12月×加盟単位クラブ数）				
		市シニア連合会運営費助成（1,170円×12月×加盟単位クラブ数）				
		体育振興費・研修・生きがいづくり仲間づくりに係る助成金				

4. 成果（簡易評価は未記入）								
成果指標名称	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	目標
		実績	実績	当初	要求	計画	計画	
会員数	人	2,999	2,846	3,000	2,850			3,210
単位クラブ数	クラブ	60	58	60	58			60

5. コスト								
事業費	計	千円	4,264	4,694	4,619	4,390		
	国	千円	0	0	0	0		
	県	千円	2,343	2,275	2,337	2,322		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
一般	千円	1,921	2,419	2,282	2,068			
正職員人工数		人工	0.07	0.07	0.2			
正職員人件費		千円	562	554	1,546			
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	4,826	5,248	6,165	4,390		

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）								
あがっている	【状況】クラブ数、会員数ともに減っている。							
どちらかといえばあがっている	【原因】コロナ禍による活動の縮小や現会員の高齢化及び新規会員登録が少ないことが影響したと思われる。							
あがっていない（停滞・低下）								

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）								
対象動向	減少	類似事業	なし	高齢者の社会参加やネットワークづくりなど、共助社会づくりにおいて老人クラブの果たす役割は大きい。会員の高齢化に伴い、単位クラブの運営が難しくなっている。				
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし					
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし					
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	あり					
成果向上余地	中程度							

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）			改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
--------------------------	--	--	-------	----	-----	----	------

改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）							
単位クラブの運営に負担にならない支援方法を検討し、クラブ数の維持に努める。				令和元年度より補助金に係る要綱を一とする3つの事務事業の統合を図り、本事業に以下の2つの事業を追加し、事務事業の整理を行った。 ・生きがいづくり仲間づくり助成金事業 ・単位老人クラブ運営費助成事業			

事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）				備考・特記事項 or 進行管理欄			
生きがいと健康づくりのための社会活動が行われ、老後の生活を豊かに、明るい長寿社会づくりのため。 超高齢社会にも突入し、地域包括ケアシステム構築における多様な社会資源の1つとして老人クラブ活動の活性化は必要と思われる。							